

## 第4学年 国語科学習指導案

### 1 単元名 短歌の世界

### 2 単元の目標

○易しい文語調の短歌について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすることができる。〔知識及び技能（3）ア〕

### 3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	言語文化についての知識及び技能
・気に入った短歌について、季節や情景、こめられた思いなどを想像しながら読もうとしている。	・易しい文語調の短歌を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 〔我が国の言語文化に関する事項 ア〕

### 4 単元について

#### (1) 本単元で扱う言語活動について

本単元では、「お気に入りの短歌を選び、書きかえて、短歌を作る」という言語活動を設定する。

短歌は五・七・五・七・七とリズムよく構成されている。リズムごとに区切り、楽しみながら音読したり、短い言葉に込められた情景や心情を想像して読んだりすることは、ふだんあまり接することのない言語文化に触れることや言葉の響きやリズムに親しむということにもつながると考える。短歌に楽しみながら親しませていくために、教科書に掲載されている短歌や並行読書した短歌の中からお気に入りの短歌を選んで「お気に入り短歌シート」を作成し、その中のお気に入りの短歌一つの上の句や下の句や一部を書きかえて、『短歌を書きかえる』活動を行う。お気に入りの作品を選んだりその理由を考えたりする活動や書きかえた短歌を友達と交流する活動は、児童の短歌に対する関心・意欲を引き出し、主体的に取り組もうとする姿につながるだろうと考える。また、『短歌を書きかえる』活動を行うために「お気に入り短歌シート」に書きとめる活動は、お気に入りの短歌の情景や気に入った言葉の響き、リズムの良さ、込められた作者の思いへの共感を考える上での助けにもなるだろうと考える。また、その作品について深く想像することができ、楽しみながら音読や暗唱をすることにもつながるだろうと考える。これらの活動により、〔我が国の言語文化に関する事項ア「易しい文語調の短歌について易しい文語調の短歌を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。」〕を実現することができると思った。

#### (2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、「お気に入り短歌シート」を書きため、その中のお気に入りの一首の上の句か下の句か一部を『書きかえる活動』を行う。リズムごとに区切り、声に出して読むことを大切に指導する

ことで、短歌のリズムや言葉の響きのよさを味わったり、情景に合わせた言葉を考えたりして短歌に親しませていきたい。そこで、毎時間、授業のはじめに全員で声に出して読む時間をとることとする。六つの作品の情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取ったり言葉の響きを味わいながら音読することで、短歌のリズムや響きのよさを感じてさせていきたい。「お気に入り短歌シート」の作成においても、教科書や並行読書の音読を必ず行ってから、ワークシートに書くことで、さまざまな作品を音読する機会を増やすようにし、声に出して言葉の響きのよさやリズムのよさを味わわせていきたい。

短歌のよさを感じるためには、短歌の情景や心情を想像しながら読むことも効果的である。そこで、お気に入りの短歌をシートに書く活動を通して、短歌の季節感や情景、込められた思いを想像できるようにしたい。解説文や写真を参考にして、お気に入りポイントや想像される情景のイラストも入れて「お気に入り短歌シート」をまとめていく。情景のイラストは、書きかえの際の思考の助けにもなると考える。

単元のまとめの『短歌書きかえ』の活動の際には、短歌の情景や作者の思いを理解したり、リズムや言葉の響きのよさも考えたりして、自分なりに短歌の世界に親しんだ書きかえが行えたらと考える。また、もとの短歌が気に入った理由も交流することで、同じ短歌を選んでも、選んだ理由が同じだったり違ったりすることにも気付かせたい。

さらに、作った短歌を紹介し合い、友達が作った短歌のよさを見つけながら、短歌の世界を楽しむ経験もさせたい。

以上のような活動を通して、「それぞれの短歌の描き出す情景や心情を想像する力」「短歌のリズムや文語の響きを楽しむ力」を身に付けさせたい。

### (3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

#### ○短歌に触れる機会をふやす

単元に入る前に、短歌に関する本を教室に置き、日頃の読書の課題として活用していく。また、毎朝、担任のお気に入りの短歌を紹介する。『五色百人一首』で毎日、遊ぶことや『子ども 折々のうた』（小学館）などを使い、作者や作品の背景についてわかりやすくかかれた書籍や、現代の生活について書かれた親しみやすい書籍に触れることで、難しいと敬遠しがちな児童が興味をもてるように工夫する。

#### ○お気に入り短歌シートの活用

気に入った短歌を見つけた際に、記入できるシートを活用することで、観点に沿ったお気に入りポイントを考えやすくなるだろうと考えた。①俳句 ②作者 ③お気に入りポイント ④出典 ⑤イラストの5つの項目を記入することで、『短歌の書きかえ』の際にも、どの短歌で書きかえるかを考える助けになると思われる。

## 5 児童の実態 省略

6 単元の指導計画（全5時間）

時	学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
1	<p>○学習のめあてをつかむ。</p> <p>○短歌の特徴を知る。</p> <p>○時代の違う短歌六首を視写し、繰り返し音読をする。</p> <p>○お気に入りの短歌の理由を考える。</p> <p>○友達とお気に入りの短歌の理由を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柿本人麻呂の短歌を声に出して読み、言葉のリズムを楽しむことをおさえる。</li> <li>・短歌は五・七・五・七・七（三十一文字）でできていることに気付かせる。</li> <li>・短歌の特徴をつかんだり、情景をイメージしたりすることもおさえる。</li> <li>・『短歌の書きかえ』を行うことを知り、お気に入りの短歌を見付けることをおさえる。</li> <li>・教師が範読して短歌の読み方を確かめながら、短歌を繰り返し音読させる。</li> </ul> <p>◇学習のめあてをつかみながら、音読をとおして短歌の特徴を知ろうとしている。</p> <p style="text-align: center;">（発表、音読の様子、振り返り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムや響きを感じ取ることを大事にしながら、繰り返し音読するように促す。</li> </ul>
2 ・ 3	<p>○六つの短歌をリズムや響きを楽しみながら繰り返し音読する。</p> <p>○六つの短歌について解説文を読みながら、描き出す情景や心情を想像する。</p> <p>○お気に入りの短歌の理由を考え、「お気に入り短歌シート」に書く。</p> <p>○お気に入りの短歌とその理由を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を手がかりにして、どんな情景なのかを頭の中に思いうかべさせたり、言葉から心情を想像させたりする。</li> <li>・六首のそれぞれに詠まれている心情や情景をつかませるために、解説と比べながら、五・七・五・七・七の大体の意味を捉えさせる。</li> <li>・今とは違う言葉や言い回しについては、解説を読んで丁寧におさえる。</li> <li>・短歌に込められた情景や心情を想像できるように音読し、ワークシートを書かせる。</li> </ul> <p>◇各短歌についての解説文を読み、それぞれの情景や心情をそうぞうしながら交流・発表をしている。（音読の様子、交流）</p>

4	<p>○情景や心情を想像し、リズムや言葉の響きも楽しみながら短歌を音読する。</p> <p>○『短歌の書きかえ』を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムや響き、情景や心情からお気に入りのを見つける。その理由についてもまとめさせる。</li> <li>・リズムのよい暗唱を心がけるとともに、情景がわかるように読み方を工夫することを促す。</li> <li>・短歌の書きかえでは、お気に入りの短歌の上の句、下の句のどちらを書きかえてもよいことを知らせる。どのような情景を想像して書きかえたかもワークシートに書くように声をかける。</li> </ul> <p>◇自分の選んだ短歌の情景を理解し、上の句か下の句を書きかえ、短歌の世界を楽しんでいる。(ワークシートの記述、感想交流、音読)</p>
5 (本時)	<p>○お気に入りの短歌を選んだ理由と書きかえた短歌を紹介し合い、友達どうして感想を交流する。</p> <p>○学級全体で共有する。</p> <p>○学習全体を振り返って、感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三人の同じ短歌を選んだ友達と交流し、感じたことや感想を交換させる。</li> <li>・書きかえた短歌ごとに発表をさせて、自分の短歌や友達の短歌の書きかえの良いところに触れて、短歌の世界を楽しませる。</li> <li>・同じ短歌を選んでも、書きかえた言葉によって情景が変わることに気付かせる。</li> </ul> <p>◇書きかえた短歌を紹介し合ったり、音読したりしながら短歌の世界の楽しさを味わっている。(発表、感想交流、ワークシートの記述)</p>

## 7 本時の目標と展開 (5 / 5)

### (1) 本時の目標

○気に入った歌について、季節や情景、こめられた思いなどを想像しながら読もうとしている。

(関心・意欲・態度)

○『短歌の書きかえ』を通して、心情や情景を想像しながら、短歌の世界を楽しむことができる。

(知識及び技能 (3) ア)

(2) 本時の展開

学習活動	指導や支援の手立て◇評価
○本時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は、お気に入りの書きかえた短歌をもとに交流して、短歌の世界を楽しむ時間であることを確認する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">書きかえた短歌を交流して、短歌の世界を楽しもう。</div>	
<p>○書きかえに使った元の短歌のリズムの良さを意識しながら、暗唱して読む。</p> <p>○お気に入りの短歌が同じ3人グループごとに一人ひとりのお気に入りのポイントを話す。</p> <p>○グループで自分の作った短歌を音読、書きかえポイントを話し、3人グループで発表し合い、感想や気づいたことを伝え合う。</p> <p>○交流の観点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情景</li> <li>・言葉の響き</li> <li>・リズムの良さ</li> </ul> <p>○学級全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の書きかえた短歌の紙を選んだ短歌ごとに黒板に貼る。</li> <li>・友達の短歌を読み、気が付いたことを発表する。</li> <li>・教師の選んだ3作品の良さについて考え、発表する。</li> </ul> <p>○単元全体を振り返って、感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムの良い暗唱を心がけるとともに、情景がわかるように読み方を工夫することを促す。</li> <li>◇気に入った歌について、リズム、言葉の響き、季節や情景、作者の思いなどを想像しながら読もうとしている。(音読)</li> <li>・今まで学習してきた「お気に入り短歌カード」を活用し、お気に入りポイントを話せるようにする。自分と同じ短歌を選んだ友達が気に入った理由が自分とは違っていることに気が付かせる。</li> <li>・友達の書きかえた短歌も楽しむことで、様々なお気に入りポイントに触れられるようにする。</li> <li>・友達の短歌の良いところについて観点を活用しながら、伝え合う。</li> <li>・同じ短歌を選んでいても、書きかえた言葉や考えた情景によって短歌の世界が変化することに気が付かせるようにする。</li> <li>・友達の発表を聞いて感じたことや感想をまとめさせる。</li> <li>・様々な短歌のお気に入りや書きかえのポイントを聞き、友達の書きかえた短歌をみんなで楽しめるようにする。</li> <li>・選ばれた友達の短歌をみんなで音読し、味わったり、楽しんだりして、短歌の世界を楽しむ。</li> <li>◇書きかえた短歌を紹介し合ったり、音読したりしながら短歌の世界の楽しさを味わっている。(発表、感想交流、ワークシートの記述、)</li> </ul>

短歌

短歌の作者

選んだ本・ページ

氏名

お気に入りポイント(○をつけ、メモしよう)  
情景

言葉のひびき

リズム

イラスト

お気に入りの短歌を書きかえ、しようかいし合おう。

※ 書きかえた句の数字を丸でかこもう。

5

7

5

7

7

書きかえのポイント

イラスト

氏名

「短歌の世界」ふり返りシート

氏名

時	1	2	3	4	5
<p>学習問題</p>	<p>短歌の持ちようをつかみ、リズムよく音読しよう。</p>	<p>情景や作者の心情を思い浮かべながら、読もう。</p>	<p>お気に入りの三首を選び、音読し、その理由も考えよう。</p>	<p>自分のお気に入りの短歌を選び、書きかえよう。</p>	<p>書きかえた短歌を交流して、短歌の世界を楽しもう。</p>
<p>かんそう</p>					
<p>ふりか えり ◎ ○ △</p>					

「短歌の世界」の学習を終えて



